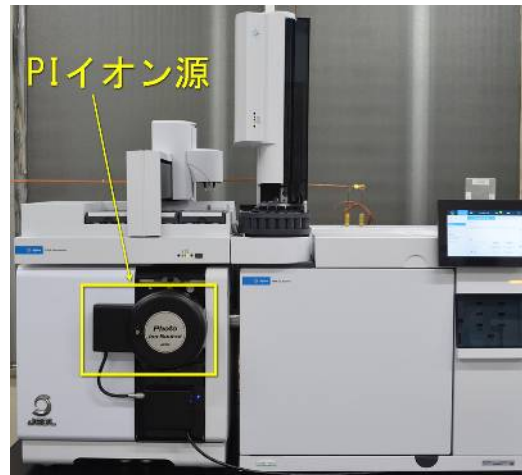


◆ 光イオン化法(PI)による潤滑油の異同識別 ◆

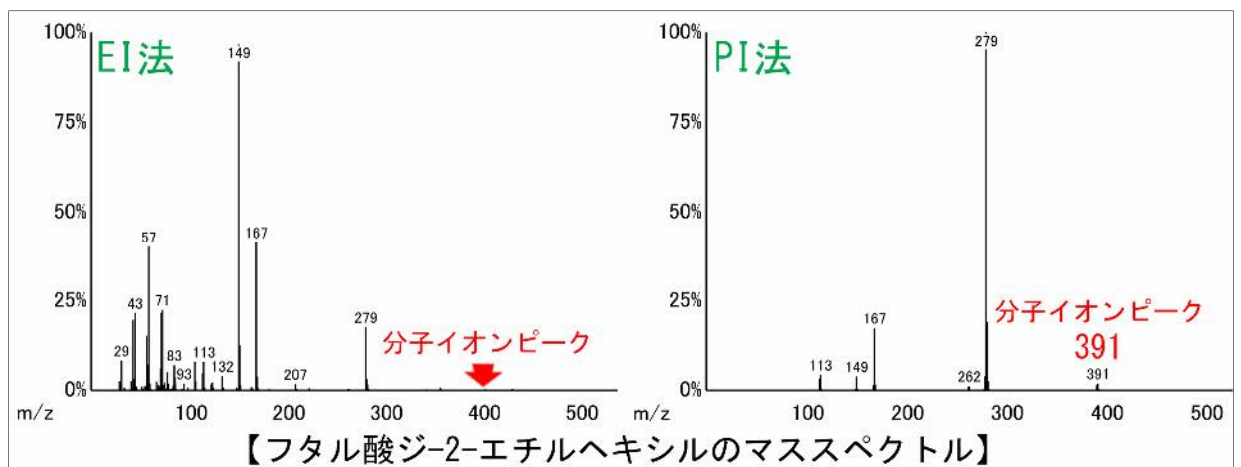
潤滑油の添加剤成分から簡便な識別！

§ ガスクロマトグラフ質量分析法(GC-MS)では、化合物のイオン化法として電子イオン化法(EI)が汎用されていますが、その他のイオン化法の1つとして光イオン化法(PI)があります。

§ PI法は紫外光の光エネルギーを利用したソフトイオン化法の1つで、イオン化エネルギーが低くフラグメントイオンの生成が抑制されるため、EI法に比べて分子イオン情報の入手が容易です。



§ フタル酸ジ-2-エチルヘキシルはEI法では分子イオンピークが観測されないが、PI法では同ピークが検出されます。



お問い合わせ先

株式会社 分析センター URL <https://www.analysis.co.jp/>

材料評価事業部 〒131-0032 東京都墨田区東向島1丁目12番2号

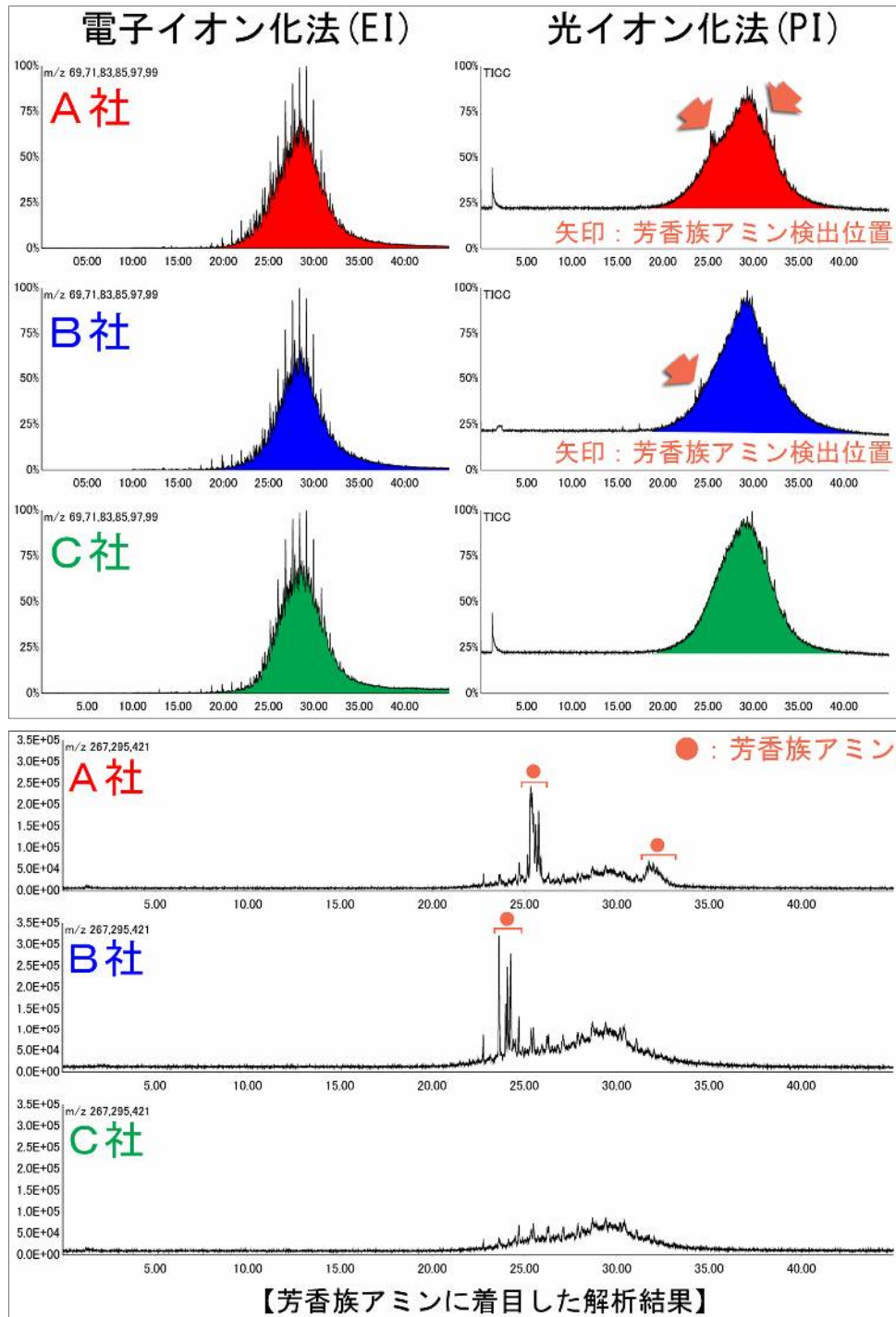
TEL 03-3616-1612 FAX 03-3616-1615

会社HP 分析無料ご相談



潤滑油における異同識別の事例

§ 潤滑油の測定事例です。EI法で検出された基油の検出パターンから3製品を識別できません。しかし、PI法では基油とともに添加剤である芳香族アミン由来のピークが検出され、それを基に識別可能です。



§ お気軽にご相談下さい。豊富な経験・実績・高い技術力で信頼性の高いデータをご提供します。

お問い合わせ先

株式会社 分析センター URL <https://www.analysis.co.jp/>

材料評価事業部 〒131-0032 東京都墨田区東向島1丁目12番2号

TEL 03-3616-1612 FAX 03-3616-1615

会社HP

分析無料ご相談

